

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教 員 氏 名	
谷川 卓 先生	おすすめメッセージ
① 図書名：『ジェリコの製本職人』 著 者：ピップ・ウィリアムズ 出版社：小学館 ISBN：9784093567473	このコーナーではじめて小説を取り上げます。 舞台は第一次世界大戦下のオックスフォード大学出版局の製本所。主人公は、そこで働く労働階級の女性ペギー。戦時下の人々の暮らしや社会のありようが丁寧に描かれ、そして現代に通じるさまざまな問題について自然と考えさせられます。とくに、学問への憧れを胸に抱くペギーが社会の壁に立ち向かうさまを読むとき、きっとさまざまな思いを巡らせることになるでしょう。
② 図書名：『形而上学とは何か』 著 者：秋葉剛史 出版社：筑摩書房 ISBN：9784480076991	私は哲学のなかでも現代形而上学と呼ばれる分野を研究しています。ですが、聞きなれない言葉だと思えますし、どんなことを研究しているのかほとんど見当がつかないのではないのでしょうか。この分野のよい入門書が出版されましたので、紹介します。性質、因果、様相、時間など難しいテーマが扱われていますが、最新の研究動向まで踏まえて丁寧に説明されています。本書を読むと、哲学がどのようにして世界のあり方を明らかにしようとしているのか、垣間見ることができるでしょう。
③ 図書名：『哲学の問い』 著 者：青山拓央 出版社：筑摩書房 ISBN：9784480076328	哲学の入門書を一冊紹介します。哲学は物事のそもそもを問う学問ですが、その対象はとくに限定されておらず、実に多岐にわたります。この本では著者の選んだ24の問いが取り上げられています。それらの問いのなかには、哲学の問いとされていることに意外な感じがするものもあるかもしれません。ですが、それらの問いへのアプローチを通じて、哲学するとはどういうことかを学ぶことができるでしょう。